



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 林兼産業株式会社

コード番号 2286 URL <http://www.havashikane.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 熊山 忠和

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長

(氏名) 松尾 和成

TEL 083-266-0210

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,186	△2.4	△12	—	△30	—	△46	—
25年3月期第2四半期	22,722	△7.9	388	92.9	398	93.6	403	213.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △0百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 249百万円 (11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△0.53	—
25年3月期第2四半期	4.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,506	—	4,609	—	—	14.3
25年3月期	27,455	—	4,618	—	—	14.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,072百万円 25年3月期 4,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	1.1	△150	—	△260	—	△320	—	△3.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	89,100,000 株	25年3月期	89,100,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	61,771 株	25年3月期	61,771 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	89,038,229 株	25年3月期2Q	89,039,434 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出環境や個人消費に持ち直しの動きが見られ、雇用情勢が改善しつつあるなど全体的に回復基調にありましたが、本格的なデフレ状況からの脱却には至りませんでした。食品業界におきましては、円安に伴う原材料輸入価格の高止まりが企業収益を圧迫するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか当社グループは、「2ヵ年経営計画」のもと、経営資源の選択と集中により構造改革を進め、収益基盤の改善と持続的な事業発展を目指してまいりました。

畜産食品事業におきましては、ブランド高級化戦略となる有名店とのコラボレーション企画を進めるなか、本年冬ギフトにおける「銘店ギフトシリーズ」として、広東料理「赤坂璃宮」監修の「霧島黒豚 広東叉焼」や、博多もつ鍋の人気店「とりもつえん」監修の「赤鶏さつま 水炊きセット」を共同開発いたしました。また、自社ブランド「霧島黒豚」のイメージキャラクター「ポーくん」を活用した拡販にも取り組み、一層のブランド力強化を図りました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、肉類の売上が増加したものの、魚肉ねり製品の販売数量減少や、昨年6月をもって畜産用飼料の自社生産を中止した影響もあり221億86百万円（前年同期比2.4%減少）となりました。損益面におきましては、魚肉ねり製品の売上減少や食肉加工品の原材料価格の高騰などにより、営業損失12百万円（前年同期は営業利益3億88百万円）、経常損失30百万円（前年同期は経常利益3億98百万円）、四半期純損失46百万円（前年同期は四半期純利益4億3百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、市場の縮小傾向のなか国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、当社は主力製品であるMソーセージを中心に販売数量が減少したことにより、減収となりました。

機能性食品におきましては、当社は高齢者向けソフト食「ソフミート」や機能性食品素材カツオエラスチン、和菓子など主力商品の販売は好調に推移いたしました。

これらにより、売上高は17億94百万円（前年同期比24.0%減少）、セグメント損失（営業損失）は84百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）64百万円）となりました。

②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、ロースハム・ウィンナーなど国内生産量は増加いたしました。当社はOEM（相手先ブランド供給）製品の販売が低調であったことなどにより、減収となりました。

肉類におきましては、輸入豚肉が減少したことで国内相場は高値で推移いたしました。こうしたなか、当社は「霧島黒豚」ブランドの浸透を図るとともに、豚肉および牛肉の拡販に取り組み販売数量が増加したことで、増収となりました。

調理食品におきましては、当社は惣菜の販売が好調に推移したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は87億76百万円（前年同期比4.4%増加）となったものの、食肉加工品の原材料価格の高騰や肉類の販売単価下落によりセグメント損失（営業損失）は1億4百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）1億10百万円）となりました。

③飼料事業

養魚用飼料におきましては、当社は養殖魚の在池量減少により販売数量が減少したものの、原材料価格高騰に対応した価格改定に取り組んだ結果、増収となりました。

水産物におきましては、当社は活魚の取り扱い量を減らし、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、当社は自社生産を中止した影響もありブロイラー用・採卵鶏用飼料などの販売数量が減少し、減収となりました。

畜産物におきましては、当社は鶏肉「赤鶏さつま」の販売に取り組んだものの、市況低迷により既存取引先への販売が低調に推移したため、減収となりました。

これらにより、売上高は107億53百万円（前年同期比2.1%減少）、セグメント利益（営業利益）は6億44百万円（前年同期比4.3%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ10億51百万円増加し、純資産が9百万円減少した結果、自己資本比率は14.3%となりました。

変動の主なものは、資産では破産更生債権等が8億28百万円増加し、負債では短期借入金が14億96百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ6億86百万円減少の13億89百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は15億97百万円（前年同期は63百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の減少が8億41百万円（前年同期は16億11百万円の増加）、たな卸資産の増加が6億54百万円あったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は4億33百万円（前年同期は4億67百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が4億14百万円あったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は13億44百万円（前年同期は2億75百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純増加額が11億80百万円（前年同期は20百万円の純減少）あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復が期待されるものの、食品業界では原材料輸入価格の高止まりやデフレ状況など、厳しい経営環境が続くと予想されます。

こうしたなか、当社グループにおきましては販売数量の低迷や販売単価の下落など更に厳しい状況が続くものと予想されるため、第2四半期累計期間までの業績も考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成25年11月11日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,319,260	2,046,800
受取手形及び売掛金	4,892,362	4,608,639
商品及び製品	1,774,538	2,148,518
仕掛品	1,980,148	1,979,776
原材料及び貯蔵品	1,255,004	1,536,170
その他	407,483	297,913
貸倒引当金	△65,971	△62,198
流動資産合計	12,562,825	12,555,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,025,322	3,978,224
土地	4,292,520	4,289,538
その他(純額)	1,833,998	2,031,640
有形固定資産合計	10,151,841	10,299,403
無形固定資産	60,599	58,296
投資その他の資産		
投資有価証券	2,845,337	2,921,518
破産更生債権等	2,916,150	3,744,498
その他	302,965	289,532
貸倒引当金	△1,384,502	△1,362,391
投資その他の資産合計	4,679,950	5,593,157
固定資産合計	14,892,390	15,950,858
資産合計	27,455,216	28,506,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,614,288	3,171,850
短期借入金	9,728,101	11,224,365
未払法人税等	27,471	44,631
賞与引当金	232,861	254,099
その他	2,119,900	1,413,611
流動負債合計	15,722,623	16,108,558
固定負債		
長期借入金	4,519,152	4,909,752
退職給付引当金	1,677,346	1,716,479
資産除去債務	5,661	5,723
その他	911,497	1,156,836
固定負債合計	7,113,658	7,788,791
負債合計	22,836,282	23,897,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	5,989	5,989
利益剰余金	346,773	299,896
自己株式	△6,379	△6,379
株主資本合計	3,761,403	3,714,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321,238	356,104
為替換算調整勘定	2,188	2,067
その他の包括利益累計額合計	323,427	358,172
少数株主持分	534,103	536,430
純資産合計	4,618,934	4,609,129
負債純資産合計	27,455,216	28,506,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	22,722,292	22,186,085
売上原価	19,113,827	19,053,297
売上総利益	3,608,465	3,132,788
販売費及び一般管理費	3,219,559	3,145,579
営業利益又は営業損失(△)	388,906	△12,790
営業外収益		
受取配当金	40,582	40,269
設備賃貸料	34,783	40,798
その他	128,412	80,946
営業外収益合計	203,779	162,014
営業外費用		
支払利息	154,041	160,892
その他	39,904	18,806
営業外費用合計	193,946	179,699
経常利益又は経常損失(△)	398,738	△30,475
特別利益		
受取賠償金	70,179	27,278
その他	435	72
特別利益合計	70,614	27,350
特別損失		
固定資産廃棄損	7,661	3,902
減損損失	6,034	2,982
特別損失合計	13,695	6,884
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	455,658	△10,009
法人税、住民税及び事業税	41,379	36,802
法人税等調整額	△1,840	△6,958
法人税等合計	39,539	29,844
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	416,118	△39,854
少数株主利益	12,775	7,023
四半期純利益又は四半期純損失(△)	403,343	△46,877

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	416,118	△39,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166,208	39,086
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	△111
その他の包括利益合計	△166,264	38,975
四半期包括利益	249,854	△878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,180	△12,132
少数株主に係る四半期包括利益	3,674	11,253

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	455,658	△10,009
減価償却費	361,408	402,333
減損損失	6,034	2,982
持分法による投資損益(△は益)	△25,726	△13,976
有形固定資産廃棄損	7,661	3,902
貸倒引当金の増減額(△は減少)	70,114	△25,884
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,692	21,237
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,565	39,132
受取利息及び受取配当金	△41,705	△41,085
受取賠償金	△70,179	△27,278
支払利息	154,041	160,892
売上債権の増減額(△は増加)	△2,269,787	△522,130
たな卸資産の増減額(△は増加)	△223,042	△654,774
仕入債務の増減額(△は減少)	1,611,364	△841,299
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,250	5,637
その他	△34,083	39,747
小計	29,136	△1,460,572
利息及び配当金の受取額	42,705	41,585
賠償金の受取額	70,179	—
利息の支払額	△154,127	△161,449
法人税等の支払額	△51,093	△16,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	△63,198	△1,597,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△320,601	△255,601
定期預金の払戻による収入	305,000	250,000
有形固定資産の取得による支出	△434,124	△414,609
無形固定資産の取得による支出	△906	△5,959
投資有価証券の取得による支出	△2,831	△3,013
その他	△14,047	△4,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467,511	△433,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	1,180,000
長期借入れによる収入	1,328,000	1,279,000
長期借入金の返済による支出	△919,544	△980,691
リース債務の返済による支出	△104,365	△125,370
少数株主への配当金の支払額	△8,920	△8,920
その他	△8	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	275,161	1,344,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	△321	△194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△255,870	△686,616
現金及び現金同等物の期首残高	2,749,880	2,075,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,494,009	1,389,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,361,956	8,402,907	10,988,730	21,753,594	968,698	22,722,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,390	63,242	630,170	698,804	196,630	895,434
計	2,367,346	8,466,150	11,618,901	22,452,398	1,165,328	23,617,727
セグメント利益	64,113	110,545	673,595	848,253	70,707	918,961

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	848,253
「その他」の区分の利益	70,707
セグメント間取引消去	15,760
全社費用(注)	△545,815
四半期連結損益計算書の営業利益	388,906

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,794,992	8,776,811	10,753,438	21,325,243	860,842	22,186,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,116	59,143	813,023	877,283	194,993	1,072,276
計	1,800,108	8,835,955	11,566,462	22,202,526	1,055,835	23,258,362
セグメント利益又は損失 (△)	△84,039	△104,398	644,415	455,977	74,290	530,267

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	455,977
「その他」の区分の利益	74,290
セグメント間取引消去	17,531
全社費用(注)	△560,589
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△12,790

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。